

令和4年度文化芸術による子供育成推進事業－巡回公演事業－

ワークショップ実施計画書【コロナ対策版】

制作団体名	株式会社 創
公演団体名	サウンドファクトリー・ジャズオーケストラ

内容
<p>ワークショップは前半・後半の2部に分けて実施します。</p> <p>・前半 40分 コンボ（小編成）による実演と解説 ジャズとはどのような音楽か。演奏を交えながらジャズ特有の構造や仕組みを楽しく解説します。フル編成とは違った自由自在なコンボ形式で演奏し、本公演への期待を高めます。</p> <ul style="list-style-type: none">◆ オープニング 先ずは JAZZ の生演奏を聞いて下さい。◆ レクチャー① 楽器の音の出る仕組みや秘密を教えます。◆ レクチャー② ジャズの秘密（アドリブ・ソロ・バトル）をお話します。◆ レクチャー③ ジャズへの参加の仕方を（拍手やコール&レスポンス）を体験。 <p>・後半 40分 グループ毎のワークショップ（高学年以上の参加が望ましい） 3つのグループに分かれて、それぞれ演奏者・スタッフが指導し、体験します。</p> <p>①アドリブソロに挑戦 ※参加人数 2名~4名 JazzBlues の名曲「C Jam Blues」はドとソの音だけでアドリブ演奏が出来ます。子どもたちが普段使っている楽器（リコーダーや鍵盤ハーモニカ、木琴等）で、アドリブソロ演奏に挑戦してください。ワークショップでアドリブ演奏の方法をお教えします。ワークショップ後もこちらで準備いたします DVD や音源等に合わせて練習していただき、本公演当日はサウンドファクトリーのメンバーの伴奏と一緒に演奏をしてください。 ※感染症対策としてリコーダーや鍵盤ハーモニカ等の演奏が難しい場合は、シロフォン・マリンバ・グロッケン（木琴・鉄琴）等、吹かない楽器を使って参加して頂くことが可能です。</p> <p>②アレンジで合同演奏 ※参加人数 2名~10名ほど 元々はアメリカ民謡で、ジャズアレンジが有名になった「茶色の小瓶」をさらに色々なアレンジを加えて演奏してもらいます。楽譜をこちらで用意いたしますので、ラテンアレンジ、マーチ風アレンジなど様々なアレンジ演奏に挑戦してください。子どもたちは普段使っている楽器（リコーダーや鍵盤ハーモニカ、木琴等）で演奏して頂きます。楽譜をもとにこちらで準備した DVD や音源等に合わせて練習していただき、本公演当日に全員と一緒にサウンドファクトリーと演奏してください。 ※感染症対策としてリコーダーや鍵盤ハーモニカ等の演奏が難しい場合は、シロフォン・マリンバ・グロッケン（木琴・鉄琴）等、吹かない楽器を使って参加して頂くことが可能です。</p>

③マラカス作成・ラテンナンバーに挑戦 ※参加人数 2名～全員

飲み物の空き容器とビーズやお米等を使って、手作りの自分だけのマラカスシェイカーを作ります。本公演でそのマラカスシェイカーを使ってラテンの曲の演奏に参加してもらいます。

※他のワークショップに参加出来ない場合でもこの体験で大勢の参加が可能です。

※上記以外に、希望される学校様は音楽部・吹奏楽部との合同演奏も可能です。合同演奏の楽曲は普段から部で子どもたちが演奏しているものを一緒に演奏します。その場合、ワークショップ 公演時に一緒に練習はしませんが、ワークショップ公演時に演奏する楽譜のコピーを頂戴します。そして本公演 当日に合同リハーサルに参加して頂き、本公演で実演します。

※各ワークショップの参加学年・人数へのご希望や、内容のご希望がありましたらご相談下さい。また、感染対策として一部ワークショップの割愛などのご希望もご相談下さい。学校様ごとのご状況に合わせて良い公演となるよう努めて参りますので何卒よろしくお願いたします。

※演奏者・スタッフは日頃より検温の実施・体調管理をいたします。演奏時以外はマスク着用の上、手の消毒等、感染症対策に努めます。

※基本的な感染症対策として公演中は演奏者と児童・生徒席までの距離を最低2m以上、理想は5m以上確保するように先生方と相談し、舞台の設定・客席最前列の位置を決定します。

※児童・生徒と近い距離での会話がある場合はマスクを着用します。

※感染症の拡大状況により日程の振替・延期等のご相談も承ります。

※感染症の影響で授業数の確保等が難しくなってきた場合は午前中にワークショップ、午後本公演というスケジュールでの実施のご相談も承ります。

※さらにワークショップ時間の確保が困難となった場合は、本公演の中にワークショップの内容を盛り込み、公演をするというご相談も承ります。

タイムスケジュール（標準）

①午前の場合

9:00	学校到着、準備開始
9:30	マイクチェック
10:00	先生方との打合せ
10:20	児童・生徒入場開始
10:30	ワークショップ前半 開始
11:10	休憩
11:20	ワークショップ後半 開始
12:00	終了・撤収作業開始・(昼食)
13:00	退出予定

②午後の場合

11:00	学校到着、準備開始
11:30	マイクチェック
12:00	先生方との打合せ
12:30	昼食
13:20	児童・生徒入場開始
13:30	ワークショップ前半 開始
14:10	休憩
14:20	ワークショップ後半 開始
15:00	終了・撤収作業開始
16:00	退出予定

※時間は目安です。学校様のご状況等に合わせて前後する場合があります。

派遣者数 ※派遣者数の内訳を御入力ください

演奏者 4名 (ドラム・パーカッション・ピアノ・管楽器)
スタッフ 2名
合計 6名

学校における事前指導

事前指導は特に必要ございません。

令和4年度文化芸術による子供育成推進事業－巡回公演事業－

本公演実施計画書【コロナ対策版】

制作団体名	株式会社 創
公演団体名	サウンドファクトリー・ジャズオーケストラ

演目
①インザムード/ジョー・ガーランド
②Sing Sing Sing/レイ・プリマ
③ムーンライトセレナーデ/グレン・ミラー
④Take The A Train/ビリー・ストレイホーン
<u>⑤C Jam Blues/デューク・エリントン (アドリブソロに挑戦、ワークショップ)</u>
⑥楽器紹介
⑦ストライク・アップ・ザ・バンド/ジョージ・ガーシュウイン
～休憩～
⑧エルクンバンチェロ/ラファエル・エルナンデス
<u>⑨サンバ・デ・オルフェ/ルイス・ボンファ (ラテンナンバーに挑戦、ワークショップ)</u>
⑩ミッキーマウスマーチ/ジミー・ドッド
<u>⑪茶色の小瓶/イーストバーン (アレンジで合同演奏、ワークショップ)</u>
⑫ルパン三世のテーマ/大野 雄二
⑬St. Thomas/ソニー・ロリンズ
⑭アンコール <u>もしくは吹奏楽部・金管バンド等との合同演奏</u>

※⑤番は当初「楽器での体験」と、「声での体験」の2種類のワークショップの選択制の予定でしたが、「声での体験」は感染症対策として削除しました。特別にご希望される場合はお知らせください。

※⑨番の当初予定していた楽曲「マンボ No.5」は、大声での発声、大人数の発声が必要なため、感染症対策として曲を差し替えました。

※他にも学校様のご要望やご状況に合わせて曲を入れ替える場合があります。

※演奏者・スタッフは日頃より検温の実施・体調管理をいたします。公演時以外はマスク着用の上、手の消毒等、感染症対策に努めます。

※基本的な感染症対策として公演中は演奏者と児童・生徒席までの距離を最低2m以上、理想は5m以上確保するように先生方と相談し、舞台の設定・客席最前列の位置を決定します。

※児童・生徒と近い距離での会話がある場合はマスクを着用します。

※感染症の拡大状況により日程の振替・延期等のご相談も承ります。

※感染症の影響で授業数の確保等が難しくなってきた場合は午前中にワークショップ、午後本公演というスケジュールでの実施のご相談も承ります。

※また、短縮公演をご希望される場合はお知らせください。

※さらにワークショップ時間の確保が困難となった場合は、本公演の中にワークショップの内容を盛り込み、公演をするというご相談も承ります。

派遣者数 ※派遣者数の内訳を御入力ください

演奏者 17名

音響等スタッフ 3名

合計 20名

タイムスケジュール（標準）

公演前日準備

15:00～20:00 内 2～3時間程度

（時間は前後の学校様の公演時間や、学校様の希望時間により前後します。事前にご相談申し上げます。）

公演当日

①午前の場合

7:00 スタッフ会場到着・準備
7:30 演奏者到着（登校の時間を配慮し前後します。）
8:00 リハーサル開始
10:00 リハーサル終了・着替え
10:20 児童・生徒入場開始
10:30 開演（内休憩10分込）
12:00 終演・片付け、昼食
13:00 出演者退出
14:00 スタッフ 退出

①午後の場合

9:00 スタッフ会場到着・準備
10:00 演奏者到着
10:30 リハーサル開始
12:30 リハーサル終了・着替え・昼食
13:20 児童・生徒入場開始
13:30 開演（内休憩10分込）
15:00 終演・片付け
16:00 出演者退出
17:00 スタッフ 退出

アドリブ・アレンジのワークショップ参加の児童・生徒は、リハーサルの一部の時間に参加可能です。事前にご相談ください。

ラテンナンバーのワークショップはリハーサルには参加せず本番のみの参加で結構です。

実施校への協力依頼人員

ワークショップ参加児童・生徒の担任の先生方は、指導のお手伝い・付き添いをお願いいたします。

演目解説

①インザムード/ジョー・ガーランド

オープニングはモダンジャズの名曲で始まります。

②Sing Sing Sing/ルイ・プリマ

映画「Swing Girls」でも有名なこの曲。ジャズの魅力の一つにアドリブやバトルなどがあります。迫力のある管楽器とともにそれらを聴いていただきます。

③ムーンライトセレナーデ/グレン・ミラー

とても美しい響きの有名曲です。優雅なサウンドを楽しんでください。

④Take The A Train/ビリー・ストレイホーン

ジャズの構造や仕組み・アドリブを、この曲を使って説明します。

⑤C Jam Blues (アドリブソロに挑戦、ワークショップ①)

JazzBlues の名曲の中で、児童・生徒がワークショップで学び練習した成果を披露、演奏していただきます。

⑥楽器紹介

⑦ストライク・アップ・ザ・バンド/ジョージ・ガーシュウィン

「さあ出発するぞ！」という意味も持つこの曲。元気なビックバンドサウンドを聴いていただきます。

～休憩～

⑧エルクンバンチェロ/ラファエル・エルナンデス

パーカッションの魅力が映えるラテンナンバー。この曲も吹奏楽部の演奏で有名です。

⑨サンバ・デ・オルフェ/ルイス・ボンファ (ラテンナンバーに挑戦、ワークショップ②)

児童・生徒がワークショップで作成したマラカスを使って、演奏に参加して頂きます。

⑩ミッキーマウスマーチ/ジミー・ドッド

ジャズの魅力はアレンジです。みんなの知っているこの曲もアレンジ次第でこんな風になりました。

⑪茶色の小瓶 アレンジで合同演奏 (ワークショップ③)

元々はアメリカ民謡で、ジャズアレンジが有名になりました。今回はさらに様々なアレンジで演奏に参加して頂きます。児童・生徒がワークショップで学び練習した成果を披露します。

⑫ルパン3世のテーマ/大野 雄二

お馴染みのこの曲は 吹奏楽部の定番でもあります。

⑬St. Thomas/ソニー・ロリンズ

最後はこの曲で締めくくりです。

⑭アンコール もしくは吹奏楽部・金管バンド等との合同演奏

吹奏楽部・金管バンド部が頑張っている学校は、アンコールとして合同演奏をして頂きます。

共演のない学校様には別途アンコール曲を準備しています。

※演奏者・スタッフは日頃より検温の実施・体調管理をいたします。公演時以外はマスク着用の上、手の消毒等、感染症対策に努めます。

※基本的な感染症対策として公演中は演奏者と児童・生徒席までの距離を最低2m以上、理想は5m以上確保するように先生方と相談し、舞台の設定・客席最前列の位置を決定します。

※児童・生徒と近い距離での会話がある場合はマスクを着用します。

※感染症の拡大状況により日程の振替・延期等のご相談も承ります。

※感染症の影響で授業数の確保等が難しくなってきた場合は午前中にワークショップ、午後本公演というスケジュールでの実施のご相談も承ります。

※さらにワークショップ時間の確保が困難となった場合は、本公演の中にワークショップの内容を盛り込み、公演をするというご相談も承ります。

児童生徒の公演への参加方法、公演に参加させるための工夫

ワークショップに参加の児童・生徒には3つのグループに分けて参加してもらいます。

①アドリブソロに挑戦 ※参加人数 2名~4名

JazzBluesの名曲「C Jam Blues」はドとソの音だけでアドリブ演奏が出来ます。子どもたちが普段使っている楽器（リコーダーや鍵盤ハーモニカ、木琴等）で、アドリブソロ演奏に挑戦してください。ワークショップでアドリブ演奏の方法をお教えします。ワークショップ後もこちらで準備いたします DVD や音源等に合わせて練習していただき、本公演当日はサウンドファクトリーのメンバーの伴奏と一緒に演奏をしてください。

②アレンジで合同演奏 ※参加人数 2名~10名ほど

元々はアメリカ民謡で、ジャズアレンジが有名になった「茶色の小瓶」をさらに色々なアレンジを加えて演奏してもらいます。楽譜をこちらで用意いたしますので、ラテンアレンジ、マーチ風アレンジなど様々なアレンジ演奏に挑戦してください。子どもたちは普段使っている楽器（リコーダーや鍵盤ハーモニカ、木琴等）で演奏して頂きます。楽譜をもとにこちらで準備した DVD や音源等に合わせて練習していただき、本公演当日に全員で一緒にサウンドファクトリーと演奏してください。

③マラカス作成・ラテンナンバーに挑戦 ※参加人数 2名~全員

飲み物の空き容器とビーズやお米等を使って、手作りの自分だけのマラカスシェイカーを作ります。本公演でそのマラカスシェイカーを使ってラテンの曲の演奏に参加してもらいます。

ワークショップに参加しない児童・生徒も、拍手や手拍子などで公演に参加してもらいます。

- ①曲に合わせて手拍子。
- ②コール&レスポンス。
- ③アドリブソロの後の拍手。
- ④アドリブソロの途中でも、感動や共感を覚えた時、拍手で応援。
- ⑤曲が終わった後、大きな歓声や拍手で感動や共感を示す。

お客さんが拍手や手拍子をする、演奏者のテンションも上がり、さらに演奏が盛り上がっていきます。

ジャズを初めて聞く子どもたちも参加しやすいように、演奏者が拍手や手拍子のタイミングをお教えします。

演奏者と一緒に楽しめるのもジャズの醍醐味です。

※児童・生徒と近い距離での会話はマスクを着用します。

児童生徒とのふれあい

①ワークショップ・本公演いずれも演奏者が直接演奏・指導をします。プロの音楽家とのふれあいは貴重な体験となるでしょう。

※児童・生徒と近い距離での会話はマスクを着用します。

②ご希望の学校様には音楽家とのふれあいコーナーとして、質問交流会を公演終了後約5～10分ほど設けたいと考えています。公演内容に対する質問から、公演中にふと浮かんだ疑問など質問してください。普段なかなか機会がない音楽家との交流が子どもたちの心に残るものになることを願っています。